

**AT5IONT-I DELUXE
AT5IONT-I**

Motherboard



バックアップの目的で利用する場合を除き、本書に記載されているハードウェア・ソフトウェアを含む、全ての内容は、ASUSTeK Computer Inc. (ASUS)の文書による許可なく、編集、転載、引用、放送、複写、検索システムへの登録、他言語への翻訳などを行うことはできません。

以下の場合、保証やサービスを受けることができません。

- (1) ASUSが明記した方法以外で、修理、改造、交換した場合。
- (2) 製品のシリアル番号が読むことができない状態である場合。

ASUSは、本マニュアルについて、明示の有無にかかわらず、いかなる保証もいたしません。ASUSの責任者、従業員、代理人は、本書の記述や本製品に起因するいかなる損害(利益の損失、ビジネスチャンスの遺失、データの損失、業務の中断などを含む)に対して、その可能性を事前に指摘したかどうかに関りなく、責任を負いません。

本書の仕様や情報は、個人の使用目的にのみ提供するものです。また、予告なしに内容に変更されることがあり、この変更についてASUSはいかなる責任も負いません。本書およびハードウェア、ソフトウェアに関する不正確な内容について、ASUSは責任を負いません。

本マニュアルに記載の製品名及び企業名は、登録商標や著作物として登録されている場合がありますが、本書では、識別、説明、及びユーザーの便宜を図るために使用しており、これらの権利を侵害する意図はありません。

Offer to Provide Source Code of Certain Software

This product may contain copyrighted software that is licensed under the General Public License ("GPL") and under the Lesser General Public License Version ("LGPL"). The GPL and LGPL licensed code in this product is distributed without any warranty. Copies of these licenses are included in this product.

You may obtain the complete corresponding source code (as defined in the GPL) for the GPL Software, and/or the complete corresponding source code of the LGPL Software (with the complete machine-readable "work that uses the Library") for a period of three years after our last shipment of the product including the GPL Software and/or LGPL Software, which will be no earlier than December 1, 2011, either

(1) for free by downloading it from [http://support.asus.com/download](http://support.asus.com/download;);

or

(2) for the cost of reproduction and shipment, which is dependent on the preferred carrier and the location where you want to have it shipped to, by sending a request to:

ASUSTeK Computer Inc.
Legal Compliance Dept.
15 Li Te Rd.,
Beitou, Taipei 112
Taiwan

In your request please provide the name, model number and version, as stated in the About Box of the product for which you wish to obtain the corresponding source code and your contact details so that we can coordinate the terms and cost of shipment with you.

The source code will be distributed WITHOUT ANY WARRANTY and licensed under the same license as the corresponding binary/object code.

This offer is valid to anyone in receipt of this information.

ASUSTeK is eager to duly provide complete source code as required under various Free Open Source Software licenses. If however you encounter any problems in obtaining the full corresponding source code we would be much obliged if you give us a notification to the email address gpl@asus.com, stating the product and describing the problem (please do NOT send large attachments such as source code archives etc to this email address).

もくじ

ご注意	v
安全上のご注意	vi
このマニュアルについて	vi
AT5IONT-I Series 仕様一覧	viii

Chapter 1 製品の概要

1.1	始める前に	1-1
1.2	マザーボードの概要	1-2
1.2.1	マザーボードのレイアウト	1-2
1.2.2	レイアウトの内容	1-3
1.3	CPU	1-3
1.4	システムメモリー	1-3
1.4.1	概要	1-3
1.4.2	メモリー構成	1-4
1.5	拡張スロット	1-5
1.5.1	拡張カードを取り付ける	1-5
1.5.2	拡張カードを設定する	1-5
1.5.3	PCI Express x4 スロット (@ × 1 スピード、ラッチ付き)	1-5
1.6	ジャンパ	1-6
1.7	コネクタ	1-8
1.7.1	バックパネルコネクタ	1-8
1.7.2	内部コネクタ	1-10
1.8	ソフトウェアのサポート	1-14
1.8.1	OSをインストールする	1-14
1.8.2	サポートDVD情報	1-14
1.8.3	ASUS VideoSecurity	1-15
1.8.4	ASUS Home Theater Gate	1-17
1.8.5	ASUS @Vibe	1-20

Chapter 2 BIOS情報

2.1	BIOS管理更新	2-1
2.1.1	ASUS Update	2-1
2.1.2	ASUS EZ Flash 2	2-2
2.1.3	ASUS CrashFree BIOS	2-3

もくじ

2.2	BIOS Setup プログラム	2-4
2.3	メインメニュー	2-4
2.3.1	System Time [xx:xx:xx]	2-5
2.3.2	System Date [Day xx/xx/xxxx]	2-5
2.3.3	SATA 1~2.....	2-5
2.3.4	記憶装置の設定	2-6
2.3.5	3rd Party Storage Configuration	2-6
2.3.6	システム情報.....	2-7
2.4	拡張メニュー	2-7
2.4.1	JumperFree	2-7
2.4.2	CPUの設定	2-8
2.4.3	チップセット	2-8
2.4.4	オンボードデバイス設定	2-8
2.4.5	USB設定	2-9
2.4.6	PCI PnP	2-10
2.5	電源メニュー	2-11
2.5.1	Suspend Mode [S3 only].....	2-11
2.5.2	ACPI 2.0 Support [Enabled]	2-11
2.5.3	ACPI APIC Support [Enabled]	2-11
2.5.4	APMの設定	2-11
2.5.5	ハードウェアモニター	2-12
2.6	ブートメニュー	2-12
2.6.1	ブートデバイスの優先順位	2-12
2.6.2	起動設定	2-13
2.6.3	セキュリティ	2-13
2.7	ツールメニュー	2-15
2.7.1	ASUS EZ Flash 2	2-15
2.7.2	Express Gate [Auto]	2-15
2.7.3	AI NET 2.....	2-15
2.8	終了メニュー	2-16

ご注意

Federal Communications Commission Statement (原文)

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause harmful interference, and
- This device must accept any interference received including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with manufacturer's instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.



The use of shielded cables for connection of the monitor to the graphics card is required to assure compliance with FCC regulations. Changes or modifications to this unit not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate this equipment.

Canadian Department of Communications Statement (原文)

This digital apparatus does not exceed the Class B limits for radio noise emissions from digital apparatus set out in the Radio Interference Regulations of the Canadian Department of Communications.

This class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

REACH (原文)

Complying with the REACH (Registration, Evaluation, Authorisation, and Restriction of Chemicals) regulatory framework, we published the chemical substances in our products at ASUS REACH website at <http://csr.asus.com/english/REACH.htm>.



本機は電気製品または電子装置であり、地域のゴミと一緒に捨てられません。また、本機のコンポーネントはリサイクル性を考慮した設計を採用しております。なお、廃棄の際は地域の条例等の指示に従ってください。



本機に装着されているボタン型電池には水銀が含まれています。通常ゴミとして廃棄しないでください。

安全上のご注意

電気の取り扱い

- ・ 作業を行う場合は、感電防止のため、電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。
- ・ 周辺機器の取り付け・取り外しの際は、本製品および周辺機器の電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。可能ならば、関係するすべての機器の電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。
- ・ ケーブルの接続・取り外しの際は、電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。
- ・ 電源延長コードや特殊なアダプターを用いる場合は専門家に相談してください。これらは、回路のショート等の原因になる場合があります。
- ・ 正しい電圧でご使用ください。ご使用になる地域の出力電圧が分からない場合は、お近くの電力会社にお尋ねください。
- ・ 電源装置の修理は販売代理店などに依頼してください。

操作上の注意

- ・ 作業を行う前に、本パッケージに付属のマニュアル及び取り付ける部品のマニュアルを全て熟読してください。
- ・ 電源を入れる前に、ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。また電源コードに損傷がないことを確認してください。
- ・ マザーボード上にクリップやネジなどの金属を落とさないようにしてください。回路のショート等の原因になります。
- ・ 埃・湿気・高温・低温を避けてください。湿気のある場所で本製品を使用しないでください。
- ・ 本製品は安定した場所に設置してください。
- ・ 本製品を修理する場合は、販売代理店などに依頼してください。

このマニュアルについて

このマニュアルには、マザーボードの取り付けや構築の際に必要な情報が記してあります。

マニュアルの概要

本書は以下のChapterから構成されています。

- ・ **Chapter 1: 製品の概要**
マザーボードの機能とサポートする新機能についての説明。
- ・ **Chapter 2: BIOS 情報**
セットアップメニューでのシステム設定の変更方法とBIOS/パラメータの詳細。

このマニュアルの表記について

本製品を正しくお取り扱いいただくために以下の表記を参考にしてください。



危険/警告: 本製品を取り扱う上で、人体への危険を避けるための情報です。



注意: 本製品を取り扱う上で、コンポーネントへの損害を避けるための情報です。



重要: 作業を完了させるために、従わなければならない指示です。



注記: 本製品を取り扱う上でのヒントと追加情報です。

詳細情報

本書に記載できなかった最新の情報は以下で入手することができます。また、BIOSや添付ソフトウェアの最新版があります。必要に応じてご利用ください。

1. ASUS Webサイト (<http://www.asus.co.jp/>)

各国や地域に対応したサイトを設け、ASUSのハードウェア・ソフトウェア製品に関する最新情報が満載です。

2. 追加ドキュメント

パッケージ内容によっては、追加のドキュメントが同梱されている場合があります。注意事項や購入店・販売店などが追加した最新情報などです。これらは、本書がサポートする範囲には含まれていません。

表記

太字

選択するメニューや項目を表示します。

斜字

文字やフレーズを強調する時に使います。

<Key>

<> で囲った文字は、キーボードのキーです。

例: <Enter>→Enter もしくはリターンキーを押してください。

<Key1+Key2+Key3>

一度に2つ以上のキーを押す必要がある場合は(+)を使って示しています。

例: <Ctrl+Alt+Del>

AT5IONT-I Series 仕様一覧

CPU	統合型 Dual-Core Intel® Atom™ D525 プロセッサ
チップセット	Intel® NM10
メモリー	<p>シングルチャンネルメモリーアーキテクチャー</p> <ul style="list-style-type: none"> SO-DIMMスロット×2:最大4GB unbuffered non-ECC 800 MHz DDR3 メモリーサポート <p>* 詳細はASUS Web サイト (http://www.asus.co.jp) の最新の推奨ベンダーリスト (QVL) をご参照ください。</p> <p>** 4GB以上のシステムメモリーを取り付けても、CPUの制限により32bit OS、64bit OSの使用に関わらず、システムメモリーは3GB以下で認識される可能性があります。</p>
グラフィックス	<p>NVIDIA® 次世代型 ION™ グラフィックプロセッサ</p> <p>CUDAテクノロジー対応</p> <p>DVI サポート:最大解像度1920×1200×32 Bpp @60Hz</p> <p>HDMI サポート:最大解像度1920×1080×32 Bpp @60Hz</p> <p>デュアルディスプレイ出力サポート:DVI&HDMI</p> <p>専用ビデオメモリー:512MB</p>
拡張スロット	PCIe x4 スロット×1 (@x1 スピード、ラッチ付属)
記憶装置	Serial ATA 3Gb/s ポート×2: AHCI モード対応
オーディオ	<p>ALC887 (6+2) チャンネルHDオーディオコーデック</p> <p>DTS Surround Sensation Ultra-PC対応</p> <p>* 8チャンネルオーディオ出力を使用する場合、フロントパネルにHDオーディオモジュール搭載のケースが必要です。</p>
LAN	PCIe Gigabit LANコントローラー
USB	<p>USB 3.0 ポート×2 (ブルー、バックパネル)</p> <p>USB 2.0 ポート×4 (ボード上に2ポート、バックパネルに2ポート)</p>
ASUSの独自機能	<p>ASUS CrashFree BIOS 3</p> <p>ASUS EZ Flash 2</p> <p>ASUS MyLogo 2™</p> <p>ASUS AI NET 2</p> <p>ASUS Express Gate</p> <p>Home Theater Gate</p> <p>Stack Cool 3+</p>

(次項へ)

AT5IONT-I Series 仕様一覧

バックパネルポート	PS/2 キーボードポート× 1 PS/2 マウスポート× 1 光デジタルS/PDIF出力ポート× 1 DVI-Dポート× 1 HDMI ポート× 1 eSATAポート× 1 LAN (RJ-45) ポート× 1 USB 2.0/1.1 ポート×2 USB 3.0/2.0 ポート×2 オーディオジャック×3 DCポート× 1 * WiFi アンテナポート× 1 * Bluetooth アダプター × 1 * * AT5IONT-I DELUXEのみ
内部コネクタ	USB 2.0/1.1 コネクタ× 1 :追加USB 2.0/1.1 ポートサポート CPUファンコネクタ× 1 ケースファンコネクタ× 1 電源ファンコネクタ× 1 Serial ATAコネクタ×2 SATA電源コネクタ× 1 * システムパネルコネクタ× 1 フロントパネルオーディオコネクタ× 1 内部スピーカーコネクタ× 1 24ピンEATX電源コネクタ× 1 ** * AT5IONT-I DELUXEのみ ** AT5IONT-I のみ
BIOS機能	8 Mb Flash ROM、AMI BIOS、PnP、DMI2.0、WfM2.0、SMBIOS 2.5
アクセサリ	Serial ATAケーブル×2 I/O Shield× 1 ユーザーマニュアル× 1 SATA電源ケーブル×1* リモコン× 1 * レシーバー× 1 * 90W DCアダプター× 1 * 電源コード× 1 * *AT5IONT-I DELUXEのみ
サポートDVD	各ドライバー ASUS PC Probe II ASUS Update アンチウイルスソフトウェア (OEM体験版)
フォームファクター	Mini ITXフォームファクター:6.75インチ×6.75インチ

*製品改善のため仕様は予告なく変更することがあります。

[illegible]

Chapter 1

製品の概要

本マザーボードをお買い上げいただき、ありがとうございます。

マザーボードとハードウェアデバイスの取り付けを始める前に、パッケージの中にリストに掲載されている部品が揃っていることを確認してください。アクセサリーのリストはページ ix をご参照ください。



- AT5IONT-I Series マザーボードは、AT5IONT-I と AT5IONT-I DELUXE の 2 つのモデルがあります。パッケージ内容はモデルにより異なります。
- 付属品が足りないときや破損しているときは、お手数ですが販売店様にご連絡ください。

1.1 始める前に

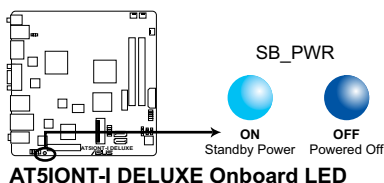
マザーボードのパーツの取り付けや設定変更の前は、次の事項にご注意ください。



- 各パーツを取り扱う前に、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 静電気による損傷を防ぐために、各パーツを取り扱う前に、静電気除去装置に触れるなど、静電気対策をしてください。
- IC に触れないように、各パーツは両手で端を持つようにしてください。
- 各パーツを取り外すときは、必ず静電気防止パッドの上に置くか、コンポーネントに付属する袋に入れてください。
- パーツの取り付け、取り外しを行う前に、ATX 電源ユニットのスイッチが OFF の位置にあるか、電源コードが電源から抜かれていることを確認してください。電力が供給された状態での作業は、感電や故障の原因となります。

オンボードLED

本マザーボードにはスタンバイLEDが搭載されており、電力が供給されている間は緑のLEDが点灯します（スリープモード、ソフトオフモードも含む）。マザーボードに各パーツの取り付け・取り外しを行う際は、システムをOFFにし、電源ケーブルを抜いてください。下のイラストは、オンボードLEDの場所を示しています。



1.2 マザーボードの概要

1.2.1 マザーボードのレイアウト

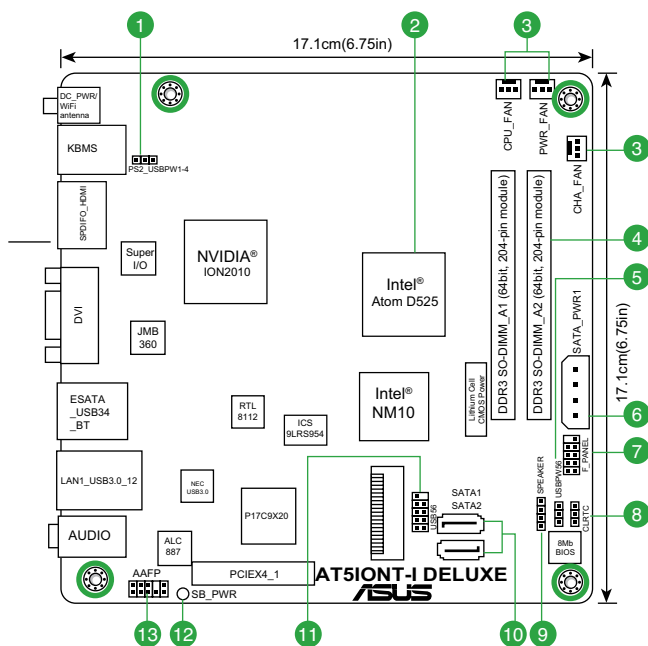


ASUS AT5IONT-I Series マザーボードには、AT5IONT-I と AT5IONT-I DELUXE の 2 つのモデルがあります。レイアウトはモデルにより異なります。本ユーザーマニュアルに記載されているレイアウトは AT5IONT-I DELUXE のみです。



マザーボードをケースに正しい方向で設置してください。外部ポートは、ケースの後側になります。

こちら側をケースの後側にします。



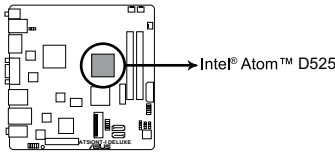
マザーボードをケースに固定するため、ネジを丸で提示されている4つの穴にはめてください。ネジをきつく締めすぎないでください。マザーボードの損傷の原因となります。

1.2.2 レイアウトの内容

コネクタ/ジャンパ/LED	ページ	コネクタ/ジャンパ/LED	ページ
1. キーボード/マウス電源/USBデバイスウェイクアップ (3ピンPS2_USBPW1-4)	1-7	8. Clear RTC RAM (3ピンCLRTC)	1-6
2. Atom D525 プロセッサー	1-3	9. 内部スピーカーコネクタ (4ピンSPEAKER)	1-12
3. CPUファン、電源ファン、ケースファンコネクタ (3ピンCPU_FAN、3ピンPWR_FAN、3ピンCHA_FAN)	1-11	10. Serial ATAコネクタ (7ピンSATA1/2)	1-10
4. DDR3 SO-DIMMスロット	1-3	11. USBコネクタ (10-1 ピン USB56)	1-11
5. USBデバイスウェイクアップ (3ピンUSBPW56)	1-7	12. スタンバイ電源LED (SB_PWR)	1-1
6. SATA電源コネクタ (4ピンSATA_PWR1)	1-13	13. フロントパネルオーディオコネクタ (10-1 ピン AAFP)	1-12
7. システムパネルコネクタ (10-1 ピン F_PANEL)	1-13		

1.3 CPU

本マザーボードには、オンボードDual-Core Intel® Atom™ D525プロセッサーと、専用に設計されたCPUヒートシンクが搭載されています。

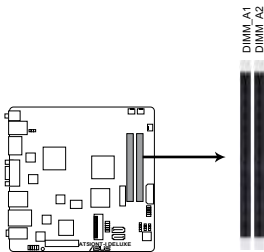


AT5IONT-I DELUXE CPU - Atom D525

1.4 システムメモリー

1.4.1 概要

本マザーボードは、DDR3 SO-DIMMメモリーに対応したメモリスロットが2基搭載されています。次の図は、スロットの場所を示しています。



AT5IONT-I DELUXE 204ピン DDR3 SO-DIMM slots

1.4.2 メモリー構成

本マザーボードには、512MB、1GB、2GB unbuffered non-ECC DDR3 SO-DIMMメモリーをメモリースロットに取り付けることができます。



- 同じCASレイテンシを持つメモリーを取り付けてください。またメモリーは同じベンダーからお求めになることをお勧めします。
- 4GB以上のシステムメモリーを取り付けても、CPUの制限により32bit OS、64bit OSの使用に関わらず、システムメモリーは3GB以下で認識される可能性があります。
- 本マザーボードは256 Mb (64MB) 以下のチップで構成されたメモリーをサポートしていません。

AT5IONT-I Series マザーボード:QVL(メモリー推奨ベンダーリスト)

DDR3-1067 MHz

ベンダー	パーツNo.	サイズ	SS/DS	チップブランド	チップNO.	タイミ ング	電圧	メモリーサポート	
								1枚	2枚
APACER	AS01GFA06C7NBGC	1GB	DS	APACER	AM5D5808DEHSBG	7	-	•	•
HYNIX	HMT11256BFR6C-G7	1GB	DS	HYNIX	H5TQ1G63BFR	-	-	•	•
KINGSTON	KVR1066D357/1G	1GB	DS	KTC	D1288JPPDPGD9U	7	1.5V	•	•
KINGSTON	KVR1066D357/1G	1GB	DS	ELPIDA	J11088DBG-DJ-F	7	1.5V	•	•
SAMSUNG	M471B2873EH1-CF8	1GB	DS	SAMSUNG	K4B1G0846E	-	-	•	•
Transcend	JM1066KSU-1G	1GB	DS	Transcend	TK243PDF3	7	-	•	•
ADATA	DDR3 1066(7) SO-DIMM	1GB	DS	Hynix	H5TQ1G83AFF H9C	7	-	•	•
Elixir	M251G64CBH8A4P-BE	1GB	DS	Elixir	N2CB1616AP-BE	-	-	•	•
KINGTIGER	1GB DIMM PC3-8500	1GB	DS	QIMONDA	IDSH1G-04A1F1C-10F	-	-	•	•
KINGTIGER	1GB DIMM PC3-8500	1GB	DS	SAMSUNG	K4B1G16460-HCF8	-	-	•	•

DDR3-1333 MHz

ベンダー	パーツNo.	サイズ	SS/DS	チップブランド	チップNO.	タイミ ング	電圧	メモリーサポート	
								1枚	2枚
APACER	AS01GFA33C9NBGC	1GB	DS	APACER	AM5D5808AEWSBG	9	-	•	•
HYNIX	HMT11256TFR8C-H9	1GB	DS	HYNIX	H5TQ1G83TFR	-	-	•	•
HYNIX	HMT32556BFR8C-H9	2GB	DS	HYNIX	H5TQ2G83BFR	-	-	•	•
KINGSTON	ASU 1333D359SR8/1G	1GB	DS	KTC	D1288JELDPGD9U	-	-	•	•
KINGSTON	KVR1333D359/1G	1GB	DS	ELPIDA	J11088DBG-DJ-F	9	1.5V	•	•
ASINT	SSY3128MB-EDJED	1GB	DS	ELPIDA	J11088DBG-DJ-F	-	-	•	•



DDR3 1333MHz メモリーとDDR3 1067MHz メモリーは、AT5IONT-I Series マザーボード上で800 MHz で動作します。



最新のQVLはASUSのWeb サイトをご参照ください。(http://www.asus.co.jp)

1.5 拡張スロット

拡張カードを取り付ける場合は、このページに記載の拡張スロットに関する説明をお読みください。



拡張カードの追加や取り外しを行う前は、電源コードを抜いてください。電源コードを接続したまま作業をすると、負傷や、マザーボードコンポーネントの損傷の原因となります。

1.5.1 拡張カードを取り付ける

手順

1. 拡張カードを取り付ける前に、拡張カードに付属するマニュアルを読み、カードに必要なハードウェアの設定を行ってください。
2. コンピューターのケースを開けます (マザーボードをケースに取り付けている場合)。
3. カードを取り付けるスロットのブラケットを取り外します。ネジは後で使用するので、大切に保管してください。
4. カードの端子部分をスロットに合わせ、カードがスロットに完全に固定されるまでしっかり押します。
5. カードをネジでケースに固定します。
6. ケースを元に戻します。

1.5.2 拡張カードを設定する

拡張カードを取り付けた後、ソフトウェアの設定を行い拡張カードを使用できるようにします。

1. システムの電源をオンにし、必要であれば BIOS の設定を変更します。BIOS の設定に関する詳細は、Chapter2をご参照ください。
2. IRQ (割り込み要求) 番号をカードに合わせます。
3. 拡張カード用のソフトウェアドライバをインストールします。

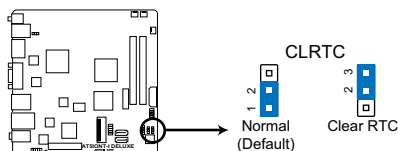
1.5.3 PCI Express x4 スロット (@ × 1 スピード、ラッチ付き)

PCI Express 規格準拠の PCI Express x4 ビデオカード/ネットワークカード/SCSI カード等をサポートしています。

1.6 ジャンパ

1. Clear RTC RAM (3-ピン CLRTC)

このジャンパは、CMOSのリアルタイムクロック (RTC) RAMをクリアするものです。CMOS RTC RAMのデータを消去することにより、日、時、およびシステム設定パラメータをクリアできます。システムパスワードなどのシステム情報を含むCMOS RAMデータの維持は、マザーボード上のボタン型電池により行われています。



AT510NT-I DELUXE Clear RTC RAM

RTC RAMをクリアする手順

1. コンピューターの電源をオフにし電源コードをコンセントから抜きます。
2. ジャンパキャップをピン 1-2 (初期設定) からピン 2-3 に移動させます。5~10秒間そのままにして、再びピン1-2にキャップを戻します。
3. 電源コードを差し込み、コンピューターの電源をオンにします。
4. 起動プロセスの間キーを押し、BIOS設定に入ったらデータを再入力します。



RTC RAMをクリアしている場合を除き、CLRTCジャンパのキャップは取り外さないでください。システムの起動エラーの原因となります。



上記の手順を踏んでもRTC RAMがクリアできない場合は、マザーボードのボタン型電池を取り外し、ジャンパの設定を行ってください。なお、クリアが終了した後は、電池を元に戻してください。

2. キーボード/マウス電源、USBデバイスウェイクアップ(3ピン PS2_USBPW1-4)

このジャンパは、キーボード/マウス、USBポート 1-4 ウェイクアップ機能の有効/無効を設定します。ピン 2-3 (+5VSB) に設定すると、キーボードのキーを押す、またはマウスをクリックする、USBデバイスを使用することで、コンピューターをウェイクアップすることができます。この機能を使用するのは、+5V SBリード線で最低 1A を供給する ATX 電源と、関連する BIOS 項目の設定が必要です。USBPW1-4 ジャンパはバックパネルの USB ポート用です。



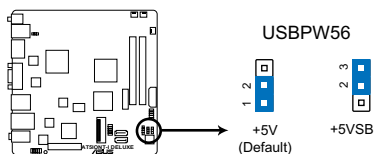
**AT5IONT-I DELUXE PS2 Keyboard/Mouse power setting
and USB device wake-up**



総消費電流は、通常の条件でもスリープモードでも、電源装置の能力 (+5VSB) を超過してはいけません。

3. USBデバイスウェイクアップ(3ピン USBPW56)

USB デバイスを利用して、S1 スリープモード (CPU 停止、DRAM リフレッシュ、低電力モードでのシステム稼働) からウェイクアップするには、+5V に設定します。また +5VSB 側に設定すると、さらに低消費電力な S3 (STR)、S4 (休止状態) からのウェイクアップができます。



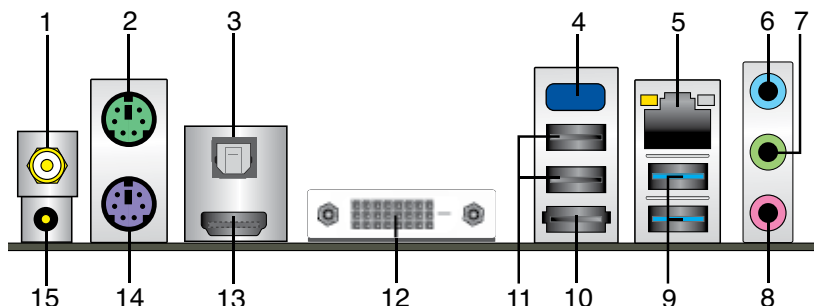
AT5IONT-I DELUXE USB Device Wake-up



- それぞれの USB ポートに対して +5VSB リード線で 500mA を提供できる電源装置が必要です。それ以外ではシステムの電源はオンになりません。
- 消費電流の総量は、標準状態でもスリープモードに入っている、電源装置の容量 (+5VSB) 以内である必要があります。

1.7 コネクター

1.7.1 バックパネルコネクター



1. **Wi-Fi アンテナポート(AT5IONT-I DELUXEのみ)**:Wi-Fi アンテナを接続します。
2. **PS/2 マウスポート(グリーン)**:PS/2 マウスを接続します。
3. **光デジタルS/PDIF出力ポート**:光デジタルS/PDIFケーブルを使用し、外付けオーディオ出力デバイスを接続します。
4. **オンボードBluetooth モジュール(AT5IONT-I DELUXEのみ)**:本マザーボードと他のBluetooth 間の無線データ通信が可能です。



- Windows® 7 OSご利用の場合は、Bluetooth 機能を完全にサポートするには、最新の Bluetooth ドライバーをASUSのサポートサイトからダウンロードし、インストールする必要があります。
<http://support.asus.com>

- **Bluetooth の電氣的仕様:**

Bluetooth V.2.1 規格準拠

データ転送速度:最大 3 Mbps

受信範囲:最大10メートル

統合型32bit CPU (32KBデータRAMと256KBプログラムRAM搭載)

5V単電源電圧

- Windows® XP OSご利用時に、サポートDVDのDrivers 画面にBluetooth Driver 項目が表示されない場合は、次の手順で設定を行ってください。

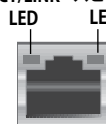
1. コンピューターをシャットダウンし、電源ユニット (PSU) の電源を切ります。
2. 電源ユニット (PSU) の電源を入れ、コンピューターを起動します。
3. サポートDVDを開き、「**ASUS InstAll**」をクリックします。

5. **LAN (RJ-45) ポート**:ネットワークハブを通して、LAN での Gigabit 接続をサポートします。LANポートLEDの表示内容は次の表をご参照ください。

LANポートLED

ACT/LINK LED		スピードLED	
状態	説明	状態	説明
OFF	リンクなし	OFF	10 Mbps
オレンジ	リンク確立	オレンジ	100 Mbps
点滅	データ送受信中	グリーン	1 Gbps

ACT/LINK スピード



LAN ポート

6. **ライン入力ポート (ライトブルー)** : テープ、CD、DVD プレーヤー、またはその他のオーディオソースを接続します。
7. **ライン出力ポート (ライム)** : ヘッドフォンやスピーカーを接続します。4、6、8チャンネルの出力設定のときは、このポートはフロントスピーカー出力になります。
8. **マイクポート (ピンク)** : マイクを接続します。



2、4、6、8チャンネル構成時のオーディオポートの機能については、次のオーディオ構成表を参考にしてください。

オーディオ構成表

ポート	ヘッドセット 2チャンネル	4チャンネル	6チャンネル	8チャンネル
ブルー (バックパネル)	ライン入力	リアスピーカー 出力	リアスピーカー出力	リアスピーカー出力
ライム (バックパネル)	ライン出力	フロントスピーカー 出力	フロントスピーカー 出力	フロントスピーカー 出力
ピンク (バックパネル)	マイク入力	マイク入力	バス/センター	バス/センター
ライム (フロント パネル)	-	-	-	サイドスピーカ ー出力



8チャンネルオーディオ出力の構成:

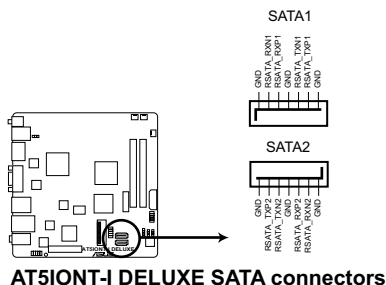
HDオーディオモジュールがフロントパネルに搭載されたケースをご使用ください。

9. **USB 3.0 ポート 1 と 2** : USB 3.0/2.0/1.1 デバイスを接続することができます。
10. **eSATA ポート** : 外部 Serial ATA / ハードディスクドライブを接続します。
11. **USB 2.0 ポート 3 と 4** : USB 2.0/1.1 デバイスを接続することができます。
12. **DVI-D ポート** : DVI-D と互換性のあるデバイスを接続します。また、HDCP 互換ですので、HD DVD や Blu-ray ディスク等の保護コンテンツの再生も可能です。
13. **HDMI ポート** : HDMI (High-Definition Multimedia Interface) コネクター用です。HDCP と互換性がありますので、HD DVD、Blu-ray ディスク、その他の保護コンテンツの再生が可能です。
14. **PS/2 キーボードポート (パープル)** : PS/2 キーボードを接続します。
15. **DC 電源ポート (AT510NT-I DELUXE のみ)** : DC 電源アダプターを接続します。

1.7.2 内部コネクター

1. Serial ATAコネクター (7ピン SATA1, SATA2)

これらコネクターはSerial ATAケーブル用で、Serial ATA 3Gb/sハードディスクドライブに使用します。Serial ATA 3Gb/sはSerial ATA 1.5Gb/sにも下位互換性があります。データ転送速度は標準的なParallel ATAの 133 MB/s (Ultra DMA133) よりも高速です。



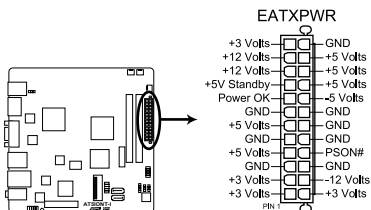
AT5IONT-I DELUXE SATA connectors



Serial ATAをご利用の場合は、Windows® XP Service Pack 2 以降を適用済みのWindows OSをインストールしてください。

2. ATX電源コネクター (24ピン EATXPWR) (AT5IONT-I のみ)

ATX電源プラグ用のコネクターです。電源プラグは正しい向きでのみ、取り付けられるように設計されています。正しい向きでしっかりと挿し込んでください。



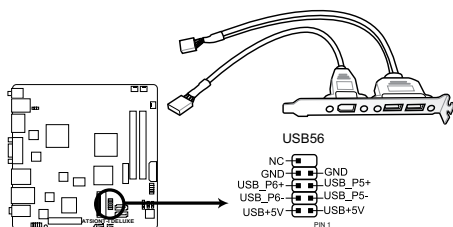
AT5IONT-I ATX power connector



- ATX 12 V 2.0 規格に基づく容量90W以上の電源ユニットのご使用をお勧めします。
- 大量に電力を消費するデバイスを使用する場合は、高出力の電源ユニットの使用をお勧めします。電源ユニットの能力が不十分だと、システムが不安定になる、またはシステムが起動できなくなる等の問題が発生する場合があります。
- システムに最低限必要な電源が分からない場合は、<http://support.asus.com/PowerSupplyCalculator/PSCalculator.aspx?SLanguage=ja-jp> の「電源用ワット数計算機」をご参照ください。

3. USBコネクター (10-1 ピン USB56)

USB 2.0 ポート用のコネクターです。USBケーブルをこれらのコネクターに接続します。このコネクターは最大 480 Mbps の接続速度を持つ USB 2.0 規格に準拠しています。



AT5IONT-I DELUXE USB2.0 connector



IEEE 1394 ケーブルを USB コネクターに接続しないでください。マザーボードが破損する原因となります。



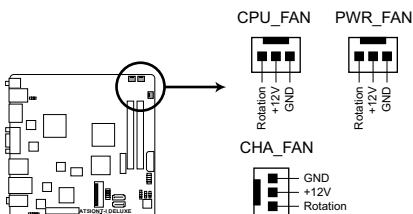
USBモジュールは別途お買い求めください。

4. CPUファン、電源ファン、ケースファンコネクター (3ピン CPU_FAN、3ピン PWR_FAN、3ピン CHA_FAN)

ファンケーブルをマザーボードのファンコネクターに接続し、各ケーブルの黒いワイヤーがコネクターのアースピンに接続されていることを確認します。



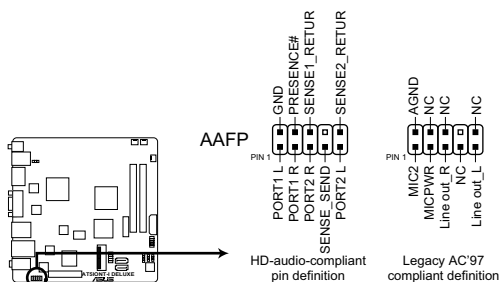
必ずファンケーブルをファンコネクターに接続してください。ケース内に十分な空気の流れがないと、マザーボードコンポーネントが損傷する恐れがあります。これはジャンパピンではありません。ファンコネクターにジャンパキャップを取り付けしないでください。



AT5IONT-I DELUXE fan connectors

5. フロントパネルオーディオコネクタ (10-1 ピン AAFP)

ケースのフロントパネルオーディオ I/O モジュール用コネクタで、HDオーディオ及び AC'97 オーディオをサポートしています。フロントパネルオーディオ I/O モジュールケーブルの一方をこのコネクタに接続します。



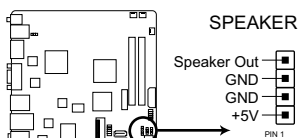
AT51ONT-I DELUXE Front panel audio connector



- HDオーディオ機能を最大限に活用するため、HDフロントパネルオーディオモジュールを接続することをお勧めします。
- HDフロントパネルオーディオモジュールを接続するには、BIOSで「**Front Panel Support Type**」の項目を [HD Audio] に設定します。AC'97フロントパネルオーディオモジュールを接続するには、[AC97] に設定します。なお、初期設定値は [HD Audio] に設定されています。詳細は「**2.4.4 オンボードデバイス設定**」をご参照ください。

6. 内部スピーカーコネクタ (4ピン SPEAKER)

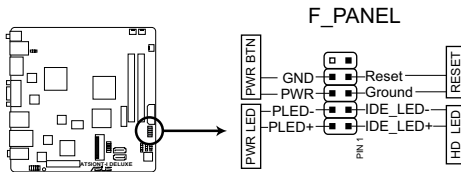
ケースに搭載のシステム警告スピーカー用です。



AT51ONT-I DELUXE Speaker out connector

7. システムパネルコネクタ (10-1 ピン F_PANEL)

このコネクタはケースに付属する各機能に対応しています。



AT510NT-I DELUXE System panel connector

- **システム電源LED (2ピン PLED)**

システム電源LED用です。ケース電源LEDケーブルを接続してください。システムの電源LEDはシステムの電源をオンにすると点灯し、システムがスリープモードに入ると点滅します。

- **HDDアクティビティLED (2ピン HD_LED)**

HDDActivity LED用です。HDDActivity LEDケーブルを接続してください。IDE LEDはHDDにデータの読み込み、書き込みが行われているときに点灯、点滅します。

- **ATX 電源ボタン/ソフトオフボタン (2ピン PWRBTN)**

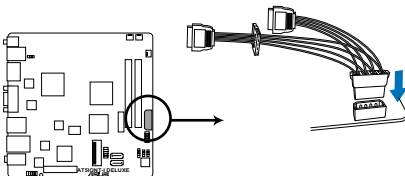
システムの電源ボタン用です。

- **リセットボタン (2ピン RESET)**

システム再起動のためのPCケースリセットボタン用です。

8. SATA電源コネクタ (4ピン SATA_PWR1) (AT510NT-I DELUXEのみ)

SATA 電源ケーブル用のコネクタです。電源プラグは正しい向きでのみ、取り付けられるように設計されています。正しい向きでしっかりと挿し込んでください。



AT510NT-I DELUXE SATA power connector

1.8 ソフトウェアのサポート

1.8.1 OSをインストールする

本マザーボードは、Windows® XP/Vista/7 OSをサポートしています。ハードウェアの機能を最大に活用するため、OSは定期的にアップデートしてください。



- ここで説明するセットアップ手順は一例です。詳細については、OSのマニュアルをご参照ください。
- 互換性とシステムの安定性のために、ドライバをインストールする前に、Service Pack 3以降を適用済みのWindows® XP、または Service Pack 1以降を適用済みのWindows® Vistaをお使いください。

1.8.2 サポートDVD情報

マザーボードに付属のサポートDVDには、マザーボードを利用するために必要なドライバ、アプリケーション、ユーティリティが収録されています。



サポートDVDの内容は、予告なしに変更する場合があります。最新のものは、ASUSのWebサイト (<http://www.asus.com.jp>) でご確認ください。

サポートDVDを実行する

サポートDVDを光学ドライブに入れます。自動再生機能 (Autorun) が有効になっていれば、ドライバメニューが自動的に表示されます。



本マニュアルに記載の図やスクリーンショットは参考用です。実際のものとは異なる場合があります。



サポートDVDとマザーボードの情報を表示

インストールする項目を選択



自動再生機能 (Autorun) が有効になっていない場合は、サポートDVDのBINフォルダから「ASSETUP.EXE」を探してください。ASSETUP.EXEをダブルクリックすれば、ドライバメニューが表示されます。

1.8.3 ASUS VideoSecurity

ASUS VideoSecurityは、強力なモニタリングとモーション検知機能で、離れた場所からもインターネットと広範囲を関知できるビデオデバイスを使って監視します。

システム条件

ASUS VideoSecurityを使用する前に、次のハードウェアとソフトウェアがインストールされていることを確認してください。

ソフトウェア:

- Microsoft® Windows 2000/XP/Vista/7 with DirectX 9.0a、またはそれ以降のバージョンをインストールしたもの
- キャプチャデバイス用の WDM ビデオキャプチャドライバー
- インターネット接続 (Microsoft IE 6 SP1 以降)
- Microsoft Media Player 9.0 以降

ハードウェア:

- ビデオキャプチャデバイス (Web カメラ、CCD、V8 / Hi-8、) で UYVY ビデオフォーマットをサポートするもの
- サウンドを再生する場合は、サウンドカードまたはオンボードサウンドチップが必要です。

ASUS VideoSecurityを起動する

1. サポートDVDからASUS VideoSecurity をインストールします。
2. 「スタートボタン」→「すべてのプログラム」→「ASUS」→「ASUS Video Security」→「ASUS Video Security」の順にクリックし次の画面を表示させます。


ASUS VideoSecurityメイン画面



VideoSecurity 設定画面

メイン画面から  **Setup** をクリックすると、起動します。



設定に関する詳細情報はヘルプ  をご参照ください。

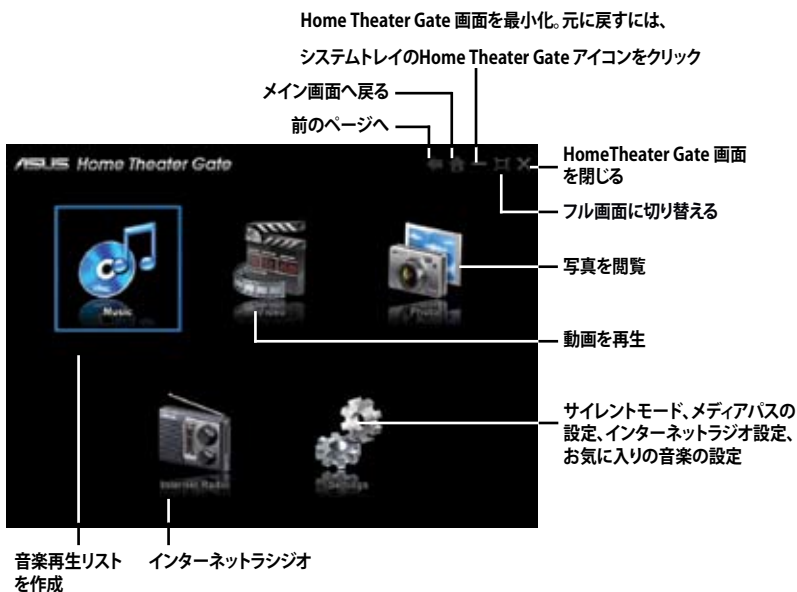
1.8.4 ASUS Home Theater Gate

ASUS Home Theater Gate は、HTPC (HOME THEATER PERSONAL COMPUTER) シリーズ用に特別に設計されたソフトウェアで、メディアアプリケーションを簡単かつ短時間で起動することが可能です。付属のリモコンでASUS Home Theater Gate を起動し、メディアアプリケーションを起動することも可能です。

Home Theater Gateを起動する

1. サポートDVDから「**Home Theater Gate**」をインストールします。
2. Home Theater Gate を起動するには、「**スタート**」→「**すべてのプログラム**」→「**ASUS**」→「**ASUS Home Theater Gate**」→「**ASUS Home Theater Gate v1.xx.xx**」の順にクリックします。続いてHome Theater Gate メイン画面が表示されます。

Home Theater Gate メイン画面



インターネットラジオの機能は、付属しているトライアルバージョンのソフトウェア「mediaU Player Mercury」にあります。評価期間中は **Top 20**、Station Overview、History、Recommendations、Station Search、Recording Scheduleの機能をソフトウェアを登録することなくご使用頂けます。

インターネットラジオチャンネル設定

チャンネルの番号を長押しすると、現在流れている局の情報がその番号に保存されます。



サポートするタイプ

解像度	1024 x 600 – 1920 x 1080
音楽	mp3、midi、wav、wma and cda
動画	avi、mp4、mpeg、rmvb、wmv、rm、mov、asf、mpg、vob、dat
画像	bmp、dib、gif、jpg、jpeg、png、tif、tiff
DTS	Windows® Vista™、Window® 7 OS (HDMI とアナログ出力のみ)
ビデオプレーヤー	Windows® Media Player、PowerDVD 8 (Cyberlink)、WinDVD 9 (Corel/InterVideo)、KMPlayer、Media Player Classic、RealPlayer and Arcsoft TotalMedia Theatre 3
ミュージックプレーヤー	Windows® Media Player、Winamp、KMPlayer、RealPlayer、iTunes



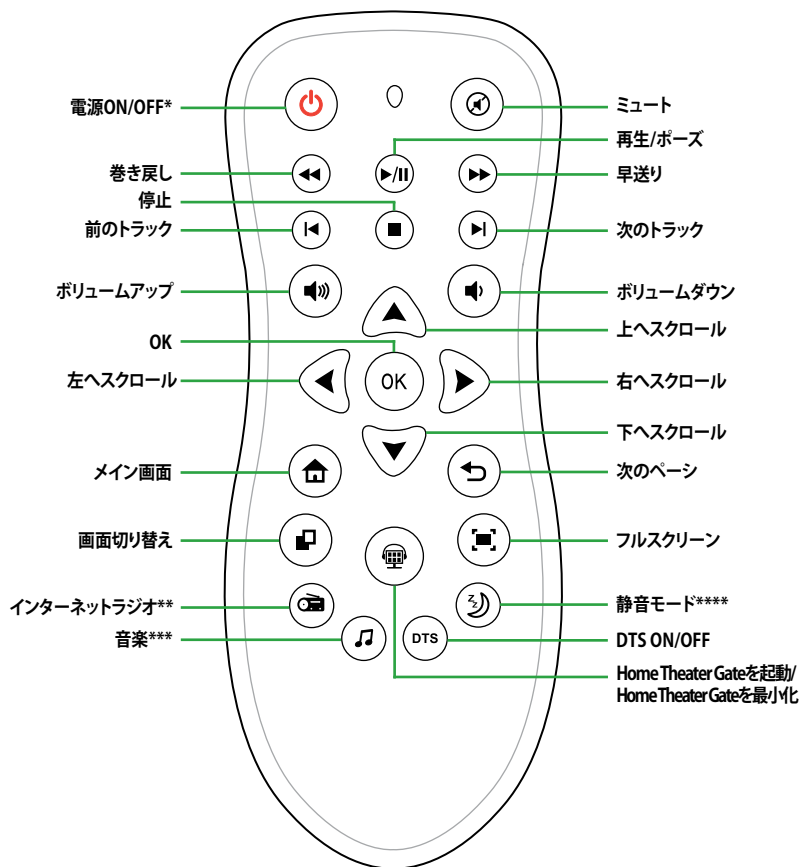
- 最新データは弊社サイトでご確認ください。
<http://support.asus.com/download/download.aspx?SLanguage=jp-jp>
- Window® XP の制限により、Blu-rayディスクを認識するためには、UDF Readerをインストールする必要があります。

リモコンを使用する (AT5IONT-I DELUXE のみ)

リモコンを使用してASUS Home Theater Gate の操作が可能です。



リモコンを使用する際は、事前に IRレシーバー をUSB 2.0 ポート 1 または 2 に接続してください。



* スリープボタンと同様の動作をします。スリープボタンはコントロールパネルの電源オプションから設定変更が可能です。

** 予めインターネットラジオのチャンネル「1」～「7」を設定してからご使用ください。

*** 設定でお気に入りの音楽、または音楽モードを設定してからご使用ください。

**** 本マザーボードはファンレス設計です。静音モードは本マザーボードでは機能しません。

1.8.5 ASUS @Vibe

ASUS @Vibe オンラインで次のエンターテインメントコンテンツを提供します。
(ラジオ、ライブTV、ゲーム等)



- ASUS @Vibe のサービス内容は地域により異なります。
- このユーティリティはWindows® XP 64bit OSではご利用になれません。

ASUS @Vibeを起動する

1. サポートDVDからASUS @Vibe をインストールします。
2. 「スタート」→「すべてのプログラム」→「ASUS」→「ASUS VIBE」→「ASUS VIBE」の順にクリックし、ASUS @Vibeを起動します。

Chapter 2

BIOS情報

2.1 BIOS管理更新



いつでもBIOSを復旧できるよう、オリジナルのマザーボードBIOSファイルをUSBフラッシュドライブにコピーしておいてください。BIOSのコピーにはASUS Update をご使用ください。

2.1.1 ASUS Update

ASUS Update はWindows® 環境でマザーボードのBIOSの管理、保存、更新が可能です。



- ASUS Update を使用するには、インターネットアクセスが必要です。
- ASUS Update はマザーボードに付属のサポートDVDに収録されています。

ASUS Update をインストールする

手順

1. サポートDVDを光学ドライブに入れます。**Drivers** メニューが表示されます。
2. **Utilities** タブをクリックし、「**ASUS Update**」をクリックします。
3. 画面の指示に従って、インストールを行います。



本ユーティリティでBIOS更新を行う場合は、Windows® アプリケーションを全て終了してから行ってください。

BIOSを更新する

手順

1. Windows® デスクトップから、「**スタート**」→「**すべてのプログラム**」→「**ASUS**」→「**AsusUpdate**」→「**AsusUpdate**」の順にクリックし、ASUS Update を起動します。

2. ドロップダウンメニューから、アップデート方法を選択します。

インターネットから更新する

- a. 「**Update BIOS from the Internet**」を選択し、「**Next**」をクリックします。
- b. 最寄りのASUS FTPサイトを選択するか、「**Auto Select**」をクリックし、「**Next**」をクリックします。
- c. ダウンロードするBIOSバージョンを選択し、「**Next**」をクリックします。



ASUS Update ユーティリティをインターネットから最新版に更新することができます。すべての機能を利用できるよう、常に最新版をご使用ください。

BIOSファイルから更新する

- a. 「**Update BIOS from a file**」を選択し、「**Next**」を選択します。
 - b. OpenダイアログからBIOSファイルを探し、「**Open**」をクリックします。
3. 画面の指示に従い、更新作業を完了します。

2.1.2 ASUS EZ Flash 2

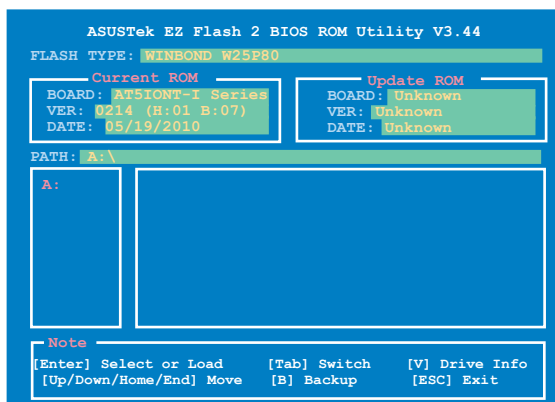
ASUS EZ Flash 2 はOSベースのユーティリティを使うことなく、BIOS更新を行います。



このユーティリティでBIOS更新を行う前に、ASUSのWeb サイト (<http://www.asus.co.jp>) から最新バージョンのBIOSをダウンロードしてください。

EZ Flash 2 を使用してBIOSを更新する

1. 最新バージョンのBIOSファイルを保存したUSBフラッシュドライブをシステムにセットし、以下のいずれかの方法でEZ Flash 2 を起動します。
 - POST中に **<Alt> + <F2>** を押し、次のような画面を表示させます。
 - BIOS Setup で、Tools メニューに進み EZ Flash2 を選択して **<Enter>** を押します。
- <Tab>** を押してドライブを切り替え、BIOSファイルを保存したドライブを指定します。



2. BIOSファイルが検出されるとEZ Flash 2 はBIOSを更新します。更新が終了するとシステムは自動的に再起動します。



- **FAT 32/16** フォーマットのUSBフラッシュドライブでシングルパーティションのみをサポートします。
- BIOS更新中にシステムのシャットダウンやリセットを行わないでください。システム起動エラーの原因となります。

2.1.3 ASUS CrashFree BIOS

ASUS CrashFree BIOSは、更新作業中にBIOSが破損した場合や失敗した場合に、自動的に復旧が可能です。マザーボードのサポートDVDかBIOSファイルを保存したリムーバブル機器を使って復旧します。



- このユーティリティを使用する前に、リムーバブルデバイスに保存したBIOSファイルの名前を「**AT5IONT.ROM (AT5IONT-I DELUXE用)**」または「**AT5IONTI.ROM (AT5IONT-I用)**」に変更してください。
- サポートDVDに収録のBIOSファイルは最新バージョンではない場合があります。最新バージョンのBIOSファイルは弊社サイトにて公開しております。
<http://www.asus.co.jp>
- ASUS CrashFree BIOSがサポートするリムーバブルデバイスはマザーボードにより異なります。フロッピーコネクタ非搭載のマザーボードでは、USBフラッシュドライブをご使用ください。

BIOSを復旧する

手順

1. システムをONにします。
2. BIOSファイルを保存したリムーバブルデバイス／サポートDVDをシステムにセットします。
3. 自動的にBIOSファイルを保存したデバイスの検出が始まります。検出されると、BIOSファイルを読み込み、破損したBIOSファイルを上書きします。
4. 更新が終了したらシステムをOFFにし、その後システムをONにします。



BIOS更新中にシステムのシャットダウンやリセットを行わないでください。システム起動エラーの原因となります。



システムの安定性と互換性を保つため、Exitメニューの「**Load Setup Defaults**」からBIOSの初期設定値を必ずロードしてください。(詳細セクション「**2.8 終了メニュー**」参照)

2.2 BIOS Setup プログラム

BIOS Setup プログラムではBIOSの更新やパラメーターの設定が可能です。BIOS画面にはナビゲーションキーとオンラインヘルプが表示されます。

起動時にBIOS Setupを開く

手順:

- POSTの段階で <Delete> を押します。<Delete> を押さない場合は、POSTがそのまま実行されます。

POSTの後でBIOS Setupを開く

手順:

- <Ctrl + Alt + Del> キーを同時に押してシステムを再起動し、POSTが表示されたらPOST実行中に <Delete> を押します。
- ケース上のリセットボタンを押してシステムを再起動し、POSTが表示されたらPOST実行中に <Delete> を押します。
- 電源ボタンを押してシステムの電源をOFFにした後、システムをONにし、POSTが表示されたらPOST実行中に <Delete> を押します。ただし、これは最初の2つの方法が失敗した場合の最後の手段として行ってください。



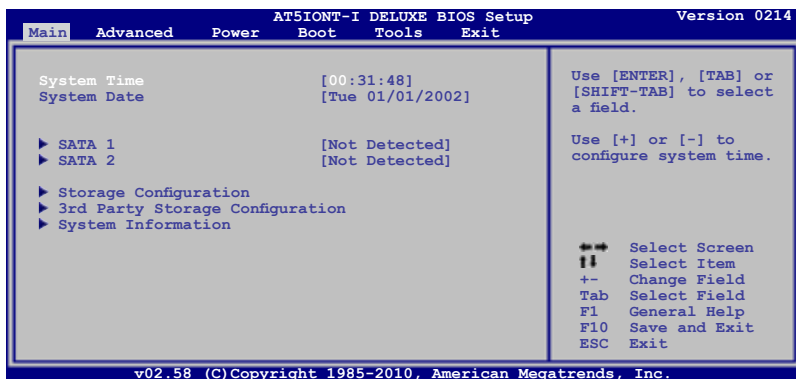
OSの動作中に電源ボタンやリセットボタン、<Ctrl + Alt + Del> キー等でリセットを行うと、データロスやOSの不具合の原因となります。OSを閉じる際は、通常の方法でシステムをシャットダウンすることをお勧めします。



- BIOSの初期設定値はほとんどの環境で、最適なパフォーマンスを安定して実現できるように設定されています。BIOS設定を変更した後にシステムが不安定になった場合は、初期設定値をロードしてください。ロードの際は、終了メニューの「Load Setup Default」を選択します。詳細は本マニュアル「2.8 終了メニュー」をご参照ください。
- 本書に記載のスクリーンショットは一例です。実際のものとは異なる場合があります。ご了承ください。
- 最新のBIOSはASUS Web サイト (www.asus.co.jp) からダウンロードしてください。

2.3 メインメニュー

BIOS Setup に入るとメインメニューが表示され、システム情報の概要が表示されます。



2.3.1 System Time [xx:xx:xx]

システム時間を設定します。

2.3.2 System Date [Day xx/xx/xxxx]

システム日付を設定します。

2.3.3 SATA 1~2

BIOS Setup を起動する段階で、BIOSは自動的にSATAデバイスを検出します。各デバイスには、それぞれサブメニューが表示されます。デバイスを選択し、<Enter>を押すとデバイスの情報が表示されます。

BIOSは、Device、Vendor、Size、LBA Mode、Block Mode、PIO Mode、Async DMA、Ultra DMA、SMART Monitoringの各値を自動的に検出します。これらの項目の値は変更することはできません。また、システムにこれらデバイスが接続されていない場合は「Not/Detected」と表示されます。

Type [Auto]

取り付けたデバイスのタイプを選択します。[Auto] にすると、適切なデバイスタイプが自動的に選択されます。CD-ROMドライブを特定して構成する場合、[CDROM] を選択します。デバイスがZIP、LS-120、MOドライブのいずれかである場合、[ARMD] (ATAPI リムーバブルメディアデバイス) を選択します。

設定オプション: [Not Installed] [Auto] [CDROM] [ARMD]

LBA/Large Mode [Auto]

LBA (Logical Block Addressing) モードの有効/無効を設定します。自動的にデバイスがLBAモードをサポートしているかどうかを検出し、サポートしている場合はLBAモードが有効になります。デバイスがLBAモードでフォーマットされていない場合は無効にします。

設定オプション: [Disabled] [Auto]

Block (Multi-sector Transfer) M [Auto]

マルチセクター転送の有効/無効を設定します。[Auto] に設定すると、デバイスがマルチセクター転送機能をサポートしていれば、デバイス間のデータ転送をマルチセクターで行います。[Disabled] に設定すると、デバイス間のデータ転送は 1 セクターごとに行います。

設定オプション: [Disabled] [Auto]

PIO Mode [Auto]

PIOモードを設定します。

設定オプション: [Auto] [0] [1] [2] [3] [4]

DMA Mode [Auto]

DMAモードを設定します。

設定オプション: [Auto]

SMART Monitoring [Auto]

S.M.A.R.T (Smart Monitoring, Analysis & Reporting Technology) を自動的に選択します。

設定オプション: [Auto] [Disabled] [Enabled]

32Bit Data Transfer [Enabled]

32bit データ転送を設定します。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

2.3.4 記憶装置の設定

SATAデバイスの各種設定を行います。設定を変更したい項目を選択し <Enter>を押します。

Configure SATA as [IDE]

SATAモードを設定します。

設定オプション:[IDE] [AHCI] [Disabled]

ATA Run Mode Configuration [Enhanced]

ATAコントローラーの動作モードを設定します。

設定オプション:[Compatible] [Enhanced]

2.3.5 3rd Party Storage Configuration

取り付けたサードパーティーSATAデバイスの設定/設定変更を行います。設定を変更したい項目を選択し<Enter>を押します。

JMicron 36x ATA Controller [IDE Mode]

JMicron 36x ATAコントローラーの動作モードを設定します。

設定オプション:[Disabled] [IDE Mode]

ESATA

BIOSは、Device、Vendor、Size、LBA Mode、Block Mode、PIO Mode、Async DMA、Ultra DMA、SMART Monitoringの各値を自動的に検出します。これらの項目の値は変更することはできません。また、システムにeSATAデバイスが接続されていない場合は [Not Detected] と表示されます。

LBA/Large Mode [Auto]

LBA (Logical Block Addressing) モードの有効/無効を設定します。[AUTO]に設定すると、自動的にデバイスがLBAモードをサポートしているかどうかを検出し、サポートしている場合はLBAモードが有効になります。デバイスがLBAモードでフォーマットされていない場合は無効にします。

設定オプション:[Disabled] [Auto]

Block (Multi-sector Transfer) M [Auto]

マルチセクター転送の有効/無効を設定します。[Auto]に設定すると、デバイスがマルチセクター転送機能をサポートしていれば、デバイス間のデータ転送をマルチセクターで行います。[Disabled]に設定すると、デバイス間のデータ転送は1セクターごとに行います。

設定オプション:[Disabled] [Auto]

PIO Mode [Auto]

PIOモードを設定します。

設定オプション:[Auto] [0] [1] [2] [3] [4]

DMA Mode [Auto]

DMAモードを設定します。

設定オプション:[Auto]

SMART Monitoring [Auto]

S.M.A.R.T (Smart Monitoring, Analysis & Reporting Technology) を設定します。

設定オプション:[Auto] [Disabled] [Enabled]

32Bit Data Transfer [Enabled]

32bit データ転送を設定します。

設定オプション:[Disabled] [Enabled]

2.3.6 システム情報

システム仕様の概要を表示します。BIOSはBIOSに関する情報やCPUの仕様、システムメモリー等の情報を自動的に検出します。

BIOS Information

BIOS情報を自動検出し表示します。

Processor

CPUの仕様を自動検出し表示します。

System Memory

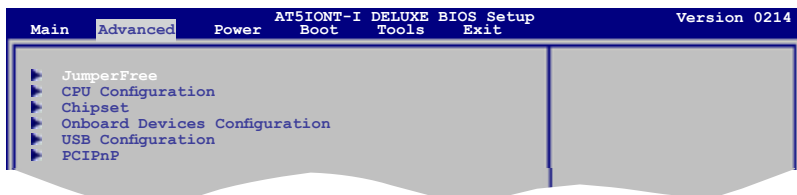
システムメモリーを自動検出し表示します。

2.4 拡張メニュー

CPUとその他のシステムデバイスの設定を変更します。



拡張メニューの設定変更は、システムの誤動作の原因となることがあります。ご注意ください。



2.4.1 JumperFree

システム周波数/電圧を調節します。

Ai Overclocking [Auto]

CPUオーバークロックオプションを選択して、CPU内部周波数を設定することができます。下の設定オプションから1つ選択します。

Manual - オーバークロックの値を手動で設定します。

Auto - システムに対して最適な設定をロードします。



次の項目は「**Ai Overclocking**」を **[MANUAL]** に設定すると表示されます。

CPU Frequency [xxx]

クロック発振器からシステムバスとPCIバスに送られる周波数を表示します。この数値はBIOSにより自動検出されます。CPU周波数を調節する際は、<+> と <-> キーを使用します。また、直接数字キーで入力することもできます。
設定範囲は 150 ~ 250 です。

Memory Over Voltage [Auto]

メモリーの電圧を手動で設定、または自動で安全モードに設定します。
設定オプション: [Auto] [+80mV] [+160mV] [+240mV] [+320mV]

Vcore Over Voltage [Auto]

CPU Vcore オーバー電圧を設定します。
設定オプション: [Auto] [+47mV] [+94mV] [+141mV] [+188mV]

2.4.2 CPUの設定

BIOSが自動的に検出するCPU関連の情報です。

Max CPUID Value Limit [Disabled]

CPUIDの最高値を設定するかどうかを決めます。Windows XP OSの場合は、無効に、Windows NT4.0のようなレガシーOSの場合は、有効に設定します。
設定オプション: [Disabled] [Enabled]

Execute-Disable Bit Capability [Enabled]

[Enabled] No-Execution Page Protection テクノロジを有効にします。
[Disabled] XD機能フラグが常にゼロ(0)に戻ります。

Hyper Threading Technology [Enabled]

Intel® Hyper Threadingテクノロジの有効/無効を設定します。
設定オプション: [Disabled] [Enabled]

2.4.3 チップセット

チップセットの設定を変更します。項目を選択し、<Enter> を押すとサブメニューが表示されます。

North Bridge Configuration

DRAM Frequency [Auto]

メモリー動作周波数を設定します。
設定オプション: [Auto] [667 MHz] [800 MHz]

Configure DRAM Timing by SPD [Enabled]

DRAM Timing by SPD設定の有効/無効を設定します。
設定オプション: [Enabled] [Disabled]

2.4.4 オンボードデバイス設定

Onboard LAN [Enabled]

オンボードLANコントローラーの有効/無効を設定します。
設定オプション: [Enabled] [Disabled]

Onboard LAN Boot ROM [Disabled]

オンボードLANコントローラーで、ブートROMの有効/無効を設定します。この項目は「Onboard LAN」の項目を有効にすると表示されます。
設定オプション: [Disabled] [Enabled]



次の2つの項目は、AT5IONT-I DELUXE マザーボードでのみ表示されます。

Onboard Wireless [Enabled]

オンボード無線機能の有効/無効を設定します。
設定オプション: [Enabled] [Disabled]

Onboard USB 3.0 Controller [Enabled]

オンボードUSB 3.0 コントローラーの有効/無効を設定します。
設定オプション: [Enabled] [Disabled]



次の項目は、AT5IONT-I DELUXE マザーボードでのみ表示されます。

Onboard Bluetooth [Enabled]

オンボードBluetoothコントローラーの有効/無効を設定します。
設定オプション: [Enabled] [Disabled]

Audio Controller [Enabled]

オーディオコントローラーの設定を行います。
設定オプション: [Enabled] [Disabled]

Front Panel Support Type [HD Audio]

フロントパネルのタイプを選択します。HDオーディオフロントオパネルが使用されている場合は、[HD Audio] に設定してください。
設定オプション: [AC97] [HD Audio]

2.4.5 USB設定

USBに関連する機能の設定変更を行います。項目を選択し <Enter> を押すと設定オプションが表示されます。



「**Module Version**」と「**USB Devices Enabled**」の項目には自動検出された値が表示されます。USBデバイスが接続されていない場合は、[None] と表示されます。

USB Functions [Enabled]

USBの各機能の有効/無効を設定します。
設定オプション: [Enabled] [Disabled]

USB 2.0 Controller [Enabled]

USB 2.0 Controller の有効/無効を設定します。
設定オプション: [Enabled] [Disabled]

Legacy USB Support [Auto]

レガシーOSでのUSBストレージデバイス (USBフラッシュドライブ、USB HDDを含む) のサポートを有効にします。[Auto] に設定すると、起動時にUSBデバイスを検出します。USBデバイスが検出されると、USBコントローラーのレガシーモードが有効になり、検出されない場合はレガシーUSBのサポートは無効になります。
設定オプション: [Disabled] [Enabled] [Auto]

USB 2.0 Controller Mode [HiSpeed]

USB 2.0 コントローラーモードをHiSpeed (480 Mbps) または Full Speed (12 Mbps) にします。
設定オプション: [FullSpeed] [HiSpeed]



次の各項目はUSBストレージデバイスを接続すると表示されます。

USB Mass Storage Device Configuration

USB Mass Storage Reset Delay [20 Sec]

USBストレージデバイスを初期化する際のBIOSの待機時間を設定します。
設定オプション: [10 Sec] [20 Sec] [30 Sec] [40 Sec]

Emulation Type [Auto]

エミュレーションタイプを設定します。
設定オプション: [Auto] [Floppy] [Forced FDD] [Hard Disk] [CDROM]

2.4.6 PCI PnP

PCI PCI/PnPデバイスの設定を変更します。このメニューではPCI/PnPデバイスまたはレガシー ISAデバイス用の IRQとDMAチャンネルリソースの設定と、レガシー ISAデバイス用のメモリーサイズブロックの設定が可能です。



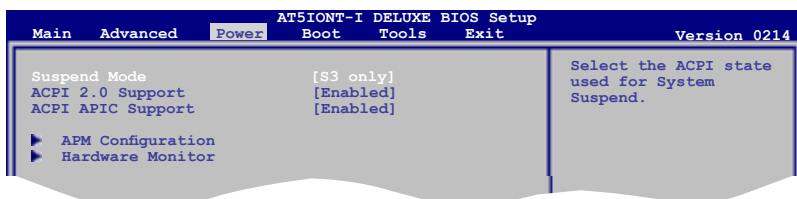
PCI PnPメニューの各項目に誤った数値を選択すると、システムの誤作動の原因となります。設定変更の際はご注意ください。

Plug and Play O/S [No]

[No] にすると、システム内の全てのデバイスがBIOSにより構成されます。Plug and Play OSをインストールしている状態で [Yes] にすると、起動に不要なPlug and Play デバイスは全てOSにより構成されます。
設定オプション: [No] [Yes]

2.5 電源メニュー

ACPIとAPM機能の設定の変更を行います。項目を選択し、<Enter>を押すと設定オプションが表示されます。



2.5.1 Suspend Mode [S3 only]

システムのサスペンドに使用される、ACPI (Advanced Configuration and Power Interface) の状態を選択します。

設定オプション: [S3 Only]

[S3 Only] - ACPI サスペンドモードをS3/STR (Suspend To RAM) に設定します。(初期設定) S3 スリープでは、OFFの状態になり、S1の状態よりも消費電力は低くなります。ウェイクアップデバイス、またはイベントの信号を受信すると、システムはS3状態になる前と全く同じ状態に再起動します。

2.5.2 ACPI 2.0 Support [Enabled]

ACPI 2.0 基準に適合させるための、ACPI テーブルのリストを拡張します。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

2.5.3 ACPI APIC Support [Enabled]

ASIC (Application-Specific Integrated Circuit) でのACPI (Advanced Configuration and Power Interface) のサポートを設定します。**[Enabled]** にすると、RSDTポインターリストにACPI APICテーブルのポインターが追加されます。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

2.5.4 APMの設定

Restore on AC Power Loss [Power Off]

[Power Off]に設定すると、停電などで電力がされた場合に再通電時に電源をOFFにします。また、[Power On]に設定すると、再通電時に電源をONにします。[Last State]に設定すると、再通電時に直前の電源状態に戻ります。

設定オプション: [Power Off] [Power On] [Last State]

Power On By RTC Alarm [Disabled]

RTCのウェイクアップイベントの発行の有効/無効を設定します。有効にすると、RTC Alarm Date、RTC Alarm Hour、RTC Alarm Minute、RTC Alarm Secondの項目が設定値と一緒に表示されます。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

Power On By PME [Disabled]

PMEのウェイクアップイベントの発行の有効/無効を設定します。この機能を利用するには、+5V SBリード線で最低1Aを供給するATX電源を必要とします。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

Power On By PS/2 Keyboard [Disabled]

PS/2 キーボードの特定キーを押して電源をONにします。この機能を利用するには、+5V SBリード線で最低 1 A を供給するATX電源を必要とします。

設定オプション: [Disabled] [Space Bar] [Power Key] [Ctrl-Esc]

Power On By PS/2 Mouse [Disabled]

[Enabled] に設定すると、PS/2 マウスで電源をONにします。この機能を利用するには、+5V SBリード線で最低 1 A を供給するATX電源を必要とします。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

2.5.5 ハードウェアモニター

CPU/GPU Temperature [xxx°C/xxx°F] or [Ignored]

オンボードハードウェアモニターはCPU温度とマザーボードの温度を自動的に検出して表示します。なお、[Ignored] にすると表示されなくなります。

CPU/Chassis/Power Fan Speed [xxxxRPM] or [Ignored]

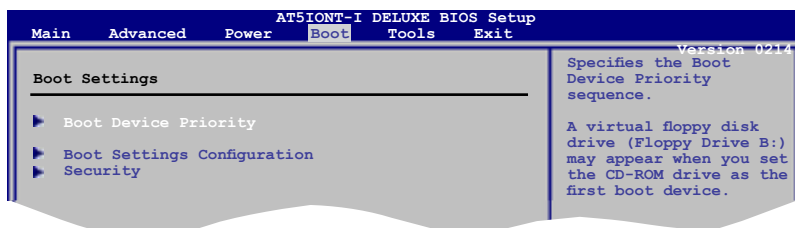
オンボードハードウェアモニターはCPUファン/ケースファンのスピードを自動検出し、RPMで表示します。マザーボードにファンが取り付けられていない場合、このフィールドには [N/A] と表示されます。なお、[Ignored] にすると表示されなくなります。

VCORE Voltage, 3.3V Voltage, 5V Voltage, 12V Voltage [xxxV] or [Ignored]

オンボード電圧レギュレータを通じ、自動的に電圧出力を検出して表示します。

2.6 ブートメニュー

システムを起動する際のオプションを変更します。<Enter> を押してサブメニューを表示します。



2.6.1 ブートデバイスの優先順位

1st ~ xxth Boot Device

ブートさせるデバイスの優先順位を指定します。画面に表示されるデバイスの数は、ブート可能なデバイスの数です。

設定オプション: [Removable Dev.] [Hard Drive] [ATAPI CD-ROM] [Disabled]



- ・ システム起動中にブートデバイスを選択するには、ASUSロゴが表示されたら<F8> キーを押します。
- ・ セーフモードでWindows® OSを起動するには、次のいずれかの操作を行います。
 - ・ ASUSロゴが表示されたら<F5> キーを押します。
 - ・ POSTの後に<F8> キーを押します。

2.6.2 起動設定

Quick Boot [Enabled]

起動中にいくつかの自己診断テスト(POST)をスキップして、システムの起動をスピードアップさせます。
[Disabled] に設定しているときは、BIOSはすべてのPOST項目を実行します。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

Full Screen Logo [Enabled]

フルスクリーンロゴの表示/非表示を切り替えます。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]



ASUS MyLogo 2™ 機能をご利用になる場合は「Full Screen Logo」の項目を [Enabled] に設定してください。

AddOn ROM Display Mode [Force BIOS]

オプションROMに対するディスプレイのモードを設定します。

設定オプション: [Force BIOS] [Keep Current]

Bootup Num-Lock [On]

電源をオンにしたときの、NumLock の状態を選択します。

設定オプション: [Off] [On]

Wait For 'F1' If Error [Enabled]

[Enabled] に設定するとシステムはエラー発生時に<F 1> キーを押すまで待機します。

オプション: [Disabled] [Enabled]

Hit 'DEL' Message Display [Enabled]

[Enabled] に設定すると、POST中に「Press DEL to run Setup (Delete キーでBIOSメニューを表示)」というメッセージが表示されます。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

2.6.3 セキュリティ

システムセキュリティ設定を変更します。項目を選択し、<Enter> を押すと設定オプションが表示されます。

Change Supervisor Password

管理者パスワードの設定または変更を行います。画面上部に表示されている「**Supervisor Password**」の初期設定値は「**Not Installed**」になっています。パスワードを設定すると、「**Installed**」に変更されます。

管理者パスワードの設定手順

1. 「**Change Supervisor Password**」を選択し、<Enter>を押します。
2. 「**password box**」で、6 文字以内の英数字からなるパスワードを入力し、<Enter>を押します。
3. パスワードの確認を要求されたら、もう一度パスワードを入力します。

パスワードの設定が完了すると、「**Password Installed**」というメッセージが表示されます。

管理者パスワードを変更する場合は、設定と同じ手順に従います。

管理者パスワードの消去は、「**Change Supervisor Password**」を選択し、<Enter>を2回押します。消去すると「**Password Uninstalled**」というメッセージが表示されます。



管理者パスワードを忘れた場合、CMOS リアルタイムクロック(RTC) RAM を消去してパスワードをクリアすることができます。RTC RAM を消去する方法については、セクション「1.6 ジャンパー」をご参照ください。

管理者パスワードを設定すると、他のセキュリティ設定を変更するための項目が表示されます。

User Access Level [Full Access]

BIOSメニューへのアクセス制限を設定します。

設定オプション: [No Access] [View Only] [Limited] [Full Access]

[No Access] - BIOS Setup へのユーザーのアクセスを拒否します。

[View Only] - アクセスは許可しますが設定の変更はできません。

[Limited] - 日時など、限られた設定のみを変更することができます。

[Full Access] - 全ての項目を表示、変更することができます。

Change User Password

ユーザーパスワードの設定または変更をします。画面上部に表示されている「**User Password**」は初期設定値では「**Not Installed**」になっています。パスワードを設定すると、「**Installed**」に変更されます。

ユーザーパスワードの設定手順

1. 「**Change User Password**」を選択し、<Enter>を押します。
2. 「password box」で、6文字以内の英数字からなるパスワードを入力し、<Enter>を押します。
3. パスワードの確認を要求されたら、もう一度パスワードを入力します。

パスワードの設定が完了すると、「**Password Installed**」というメッセージが表示されます。

ユーザーパスワードを変更する場合は、設定と同じ手順で行います。

Clear User Password

ユーザーパスワードをクリアします。

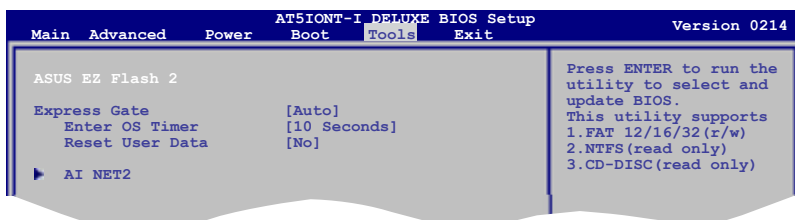
Password Check [Setup]

[Setup]に設定するとBIOSはBIOS Setup へのアクセス時に、ユーザーパスワードの入力を要求します。[Always]に設定するとBIOSはBIOS Setup へのアクセス時とシステムの起動時に、ユーザーパスワードの入力を要求します。

設定オプション: [Setup] [Always]

2.7 ツールメニュー

本マザーボードに搭載の特殊機能の設定を行います。項目を選択し、<Enter> を押してサブメニューを表示します。



2.7.1 ASUS EZ Flash 2

ASUS EZ Flash 2 を起動します。<Enter> を押すと、確認メッセージが表示されます。左右矢印キーを使って [Yes] または [No] を選択し <Enter> を押して選択を決定します。詳細はセクション「2.1.2 ASUS EZ Flash 2」をご参照ください。

2.7.2 Express Gate [Auto]

ASUS Express Gate 機能を設定します。ASUS Express Gate はブラウザやSkype 等のアプリケーションに瞬時にアクセスできる機能です。

設定オプション: [Enabled] [Disabled] [Auto]

Enter OS Timer [10 Seconds]

Express Gate のトップ画面での待機時間を設定します。この時間が経過すると、Windows OS (または他のOS) が起動します。[Prompt User] を選択すると、ユーザーがアクションを起こすまで無制限に待機します。

設定オプション: [Prompt User]

[1 second] [3 seconds] [5 seconds] [10 seconds] [15 seconds] [20 seconds] [30 seconds]

Reset User Data [No]

Express Gate のユーザーデータを消去します。

設定オプション: [No] [Reset]

次にExpress Gate を開くときにユーザーデータが消去されますので、各設定データをBIOSに保存してください。消去されるデータにはExpress Gate の設定、ブラウザ上に保存した個人データ (ブックマーク、Cookie、履歴など) が含まれます。これは不正なデータ設定により、Express Gate を正常に起動できなくなる問題を防ぐのに有効な手段となります。



設定が削除してからExpress Gate 環境に初めて入ると、設定ウィザードが起動します。

2.7.3 AI NET 2

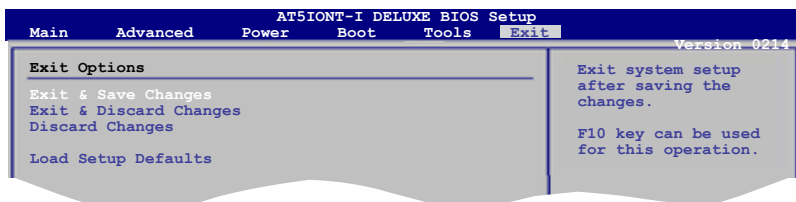
Check Realtek LAN cable [Disabled]

POST中にBIOSによるRealtek LANケーブルのチェックを行う機能の設定です。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

2.8 終了メニュー

BIOS設定の保存や取り消しのほか、初期設定値の読み込みを行います。



<Esc>を押してもこのメニューは終了しません。「Exit」メニューからいずれかの項目を選択するか、<F10>を押して終了します。

Exit & Save Changes

BIOSの設定が終了したら、「Exit」メニューからこのオプションを選択し、設定をCMOS RAMに保存して終了します。オンボード用のバックアップで搭載されているバッテリーは、コンピューターの電源がOFFでもBIOSの設定内容を保持します。この項目を選択すると、確認ウィンドウが表示されます。「OK」を選択すると、変更を保存して終了します。



設定を保存せずに<ESC>でBIOS Setupを終了しようとする、終了する前に変更を保存しますかと尋ねるメッセージが表示されます。保存する場合は<Enter>押してください。

Exit & Discard Changes

BIOS Setup で行った設定変更を保存しない場合は、この項目を選択します。ただし、システムの日付、システム時間、パスワード以外の設定を変更した場合は、終了する前に確認メッセージが表示されます。

Discard Changes

BIOS Setup で変更した設定を破棄し、以前保存したときの設定内容に戻します。この項目を選択した後は、確認メッセージが表示されます。確認メッセージの表示で「OK」を選択すると設定変更は取り消され、以前保存したときの設定内容がロードされます。

Load Setup Defaults

BIOS Setup のそれぞれの値に、初期設定値をロードします。このオプションを選択するか、<F5>を押すと確認画面が表示されます。「OK」を選択して初期設定値をロードします。その後は「Exit & Save Changes」を選択するか、他の変更を行ってから設定を保存します。

ASUSコンタクトインフォメーション

ASUSTeK COMPUTER INC.

住所: 15 Li-Te Road, Peitou, Taipei, Taiwan 11259
電話(代表): +886-2-2894-3447
ファックス(代表): +886-2-2890-7798
電子メール(代表): info@asus.com.tw
Webサイト: www.asus.com.tw

テクニカルサポート

電話: +86-21-3842-9911
オンラインサポート: support.asus.com

ASUS COMPUTER INTERNATIONAL (アメリカ)

住所: 800 Corporate Way, Fremont, CA 94539, USA
電話: +1-510-739-3777
ファックス: +1-510-608-4555
Webサイト: http://usa.asus.com

テクニカルサポート

電話: +1-812-282-2787
サポートファックス: +1-812-284-0883
オンラインサポート: support.asus.com

ASUS COMPUTER GmbH (ドイツ・オーストリア)

住所: Harkort Str. 21-23, D-40880 Ratingen, Germany
電話: +49-2102-95990
ファックス: +49-2102-959911
Webサイト: www.asus.de
オンラインコンタクト: www.asus.de/sales

テクニカルサポート

電話:(コンポーネント) +49-1805-010923*
電話:(システム/ノートブック/EeeFamily/LCD) +49-1805-010920*
サポートファックス: +49-2102-9599-11
オンラインサポート: support.asus.com

*国内固定電話:EUR 0.14/分 携帯電話: 0.42/分

DECLARATION OF CONFORMITY

Per FCC Part 2 Section 2.1077(a)



Responsible Party Name: Asus Computer International

Address: 800 Corporate Way, Fremont, CA 94539,

Phone/Fax No: (510)739-3777/(510)608-4555

hereby declares that the product

Product Name : Motherboard

Model Number : AT5IONT-I

Conforms to the following specifications:

- ☒ FCC Part 15, Subpart B, Unintentional Radiators
- ☐ FCC Part 15, Subpart C, Intentional Radiators
- ☐ FCC Part 15, Subpart E, Intentional Radiators

Supplementary Information:

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Representative Person's Name : Steve Chang / President

Signature :

Date : Jun. 09, 2010

Steve Chang

EC Declaration of Conformity

We, the undersigned,

Manufacturer:	ASUSTeK COMPUTER INC.
Address, City:	No. 150, LI-HU-ERD, PEITOU, TAIPEI 112, TAIWAN R.O.C.
Country:	TAIWAN
Authorized representative in Europe:	ASUS COMPUTER GmbH
Address, City:	HARKORT STR. 21-23, 40880 RATINGEN
Country:	GERMANY

declare the following apparatus:

Product name :	Motherboard
Model name :	AT5IONT-I

conform with the essential requirements of the following directives:

82/2004/108/EC-EMC Directive	<input checked="" type="checkbox"/> EN 55024:1989+A1:2007+ A2:2005
<input checked="" type="checkbox"/> EN 55025:2007	<input checked="" type="checkbox"/> EN 61000-3-2:2006
<input checked="" type="checkbox"/> EN 61000-3-3:2008	<input checked="" type="checkbox"/> EN 55020:2007

1999/5/EC-R & TTE Directive

<input type="checkbox"/> EN 300 328 V1.7.1(2006-05)	<input type="checkbox"/> EN 301 489-1 V1.8.1(2006-04)
<input type="checkbox"/> EN 300 440 V1.4.1(2006-05)	<input type="checkbox"/> EN 301 489-3 V1.4.1(2002-08)
<input type="checkbox"/> EN 300 511 V9.0.2(2003-03)	<input type="checkbox"/> EN 301 489-4 V1.3.1(2005-11)
<input type="checkbox"/> EN 301 908-1 V3.2.1(2007-05)	<input type="checkbox"/> EN 301 489-6 V1.4.1(2007-11)
<input type="checkbox"/> EN 301 908-2 V3.2.1(2007-05)	<input type="checkbox"/> EN 301 489-7 V1.3.2(2006-04)
<input type="checkbox"/> EN 301 908-3 V4.1(2005-03)	<input type="checkbox"/> EN 301 489-8 V1.3.2(2006-04)
<input type="checkbox"/> EN 50360:2001	<input type="checkbox"/> EN 302 326-2 V1.2.2(2007-06)
<input type="checkbox"/> EN 50371:2002	<input type="checkbox"/> EN 302 326-3 V1.3.1(2007-09)
<input type="checkbox"/> EN 60950-1:2005	<input type="checkbox"/> EN 302 357-2 V1.3.1(2006-05)
<input type="checkbox"/> EN 60950-2:2005	

82/2006/95/EC-LVD Directive

<input checked="" type="checkbox"/> EN 60950-1:2007+A11:2004	<input type="checkbox"/> EN 60950-2:2002+A1:2006
<input type="checkbox"/> EN 60950-1:2006	<input type="checkbox"/> EN 60950-1:2006+A11:2009

2009/125/EC-EuP Directive

Regulation (EC) No. 1275/2008	Regulation (EC) No. 276/2009
<input type="checkbox"/> EN 62001:2005	<input type="checkbox"/> EN 62301:2005
Regulation (EC) No. 642/2009	
<input type="checkbox"/> EN 62301:2005	

CE marking



(EC conformity marking)

Position : CEO
Name : Jerry Shen

Jerry Shen

Signature : _____

Declaration Date: Jun. 09, 2010
Year to begin affixing CE marking:2010